

8. 広域的課題への対応

(1) 行政単位のあり方

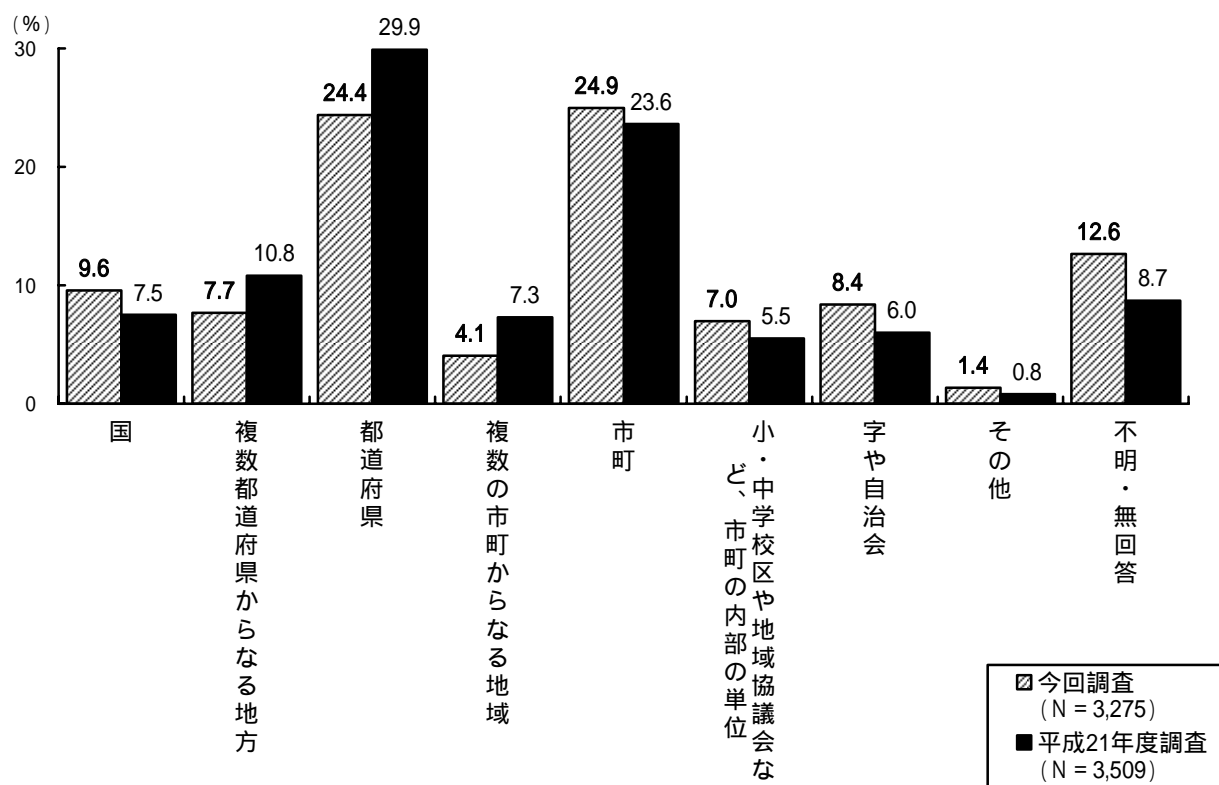
「愛着」や「思い入れ」を感じる行政単位

問 36 あなたがもっとも「愛着」や「思い入れ」を感じる行政単位はどれですか。(は1つだけ)

「市町」が24.9%、「都道府県」が24.4%

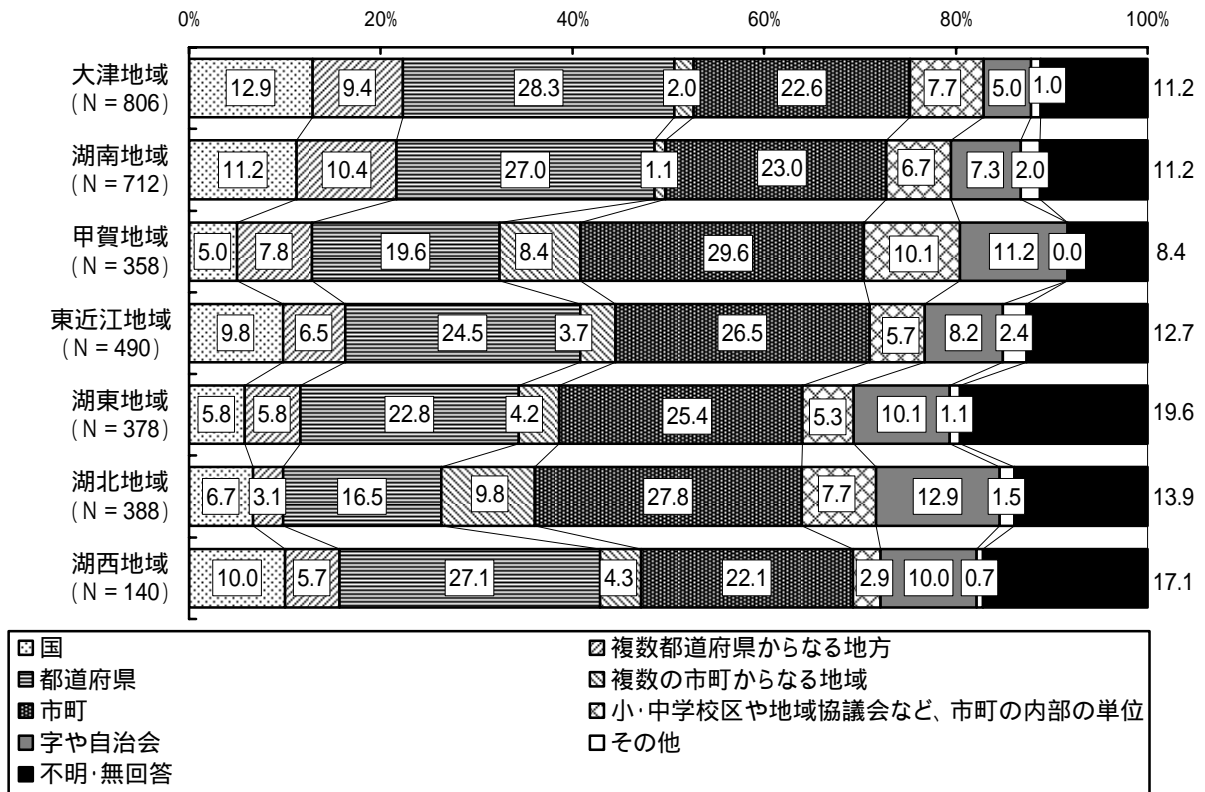
「愛着」や「思い入れ」を感じる行政単位については、「市町」が24.9%と最も高く、次いで「都道府県」が24.4%と僅差で続いている。

平成21年度調査と比較すると、「都道府県」(29.9%)は5.5ポイント低く、「市町」は1.3ポイント高くなり、前回の1位、2位の順位が逆転している。



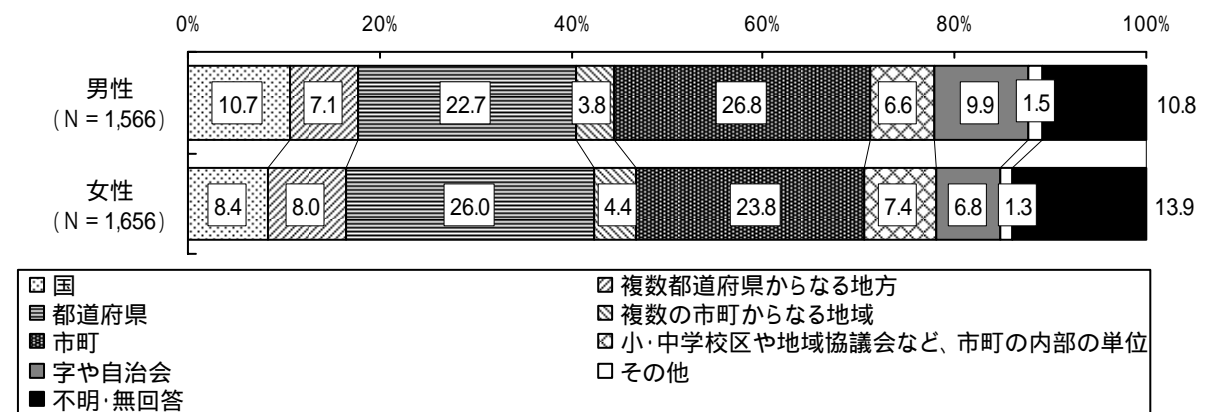
【地域別】

大津・湖南・湖西地域では「都道府県」が、甲賀・東近江・湖東・湖北地域では「市町」がそれぞれ最も高くなっている。



【性別】

男性は「市町」が 26.8%、女性は「都道府県」が 26.0%と、それぞれ最も高くなっている。男女とも「都道府県」、「市町」がいずれも2割を超えている。



【性・年代別】

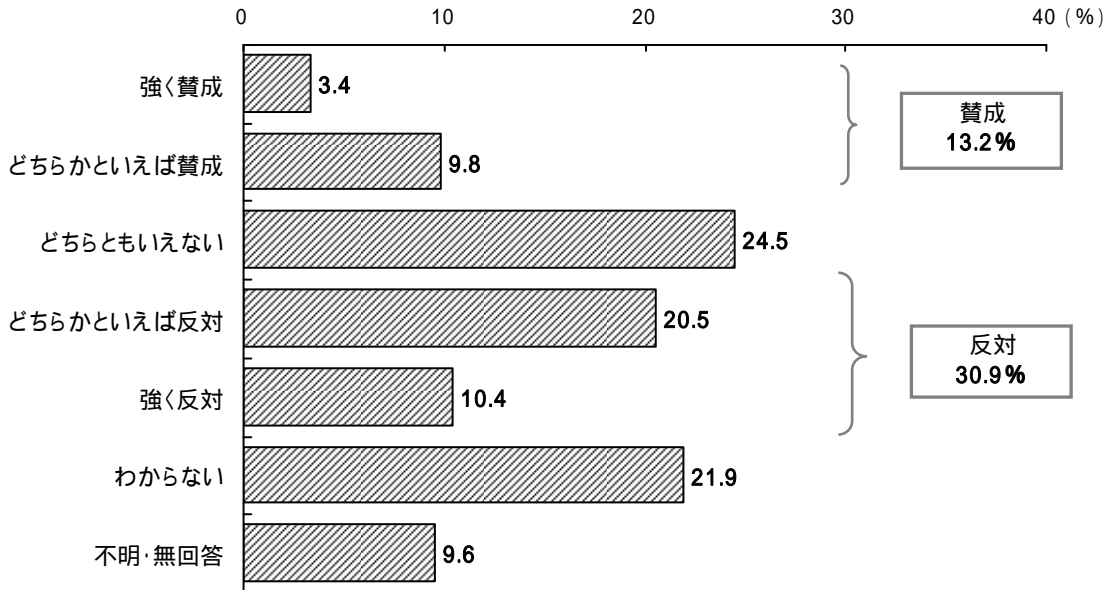
男性では、70歳以上は「都道府県」が、その他の年代は「市町」が最も高く、女性では、20~40歳代で「市町」、50歳代以上で「都道府県」が最も高くなっており、傾向に差がみられる。

道州制導入についての賛否

問 37 都道府県を廃止し、道州制を導入しようとする議論がありますが、あなたはどのように思われますか。(は1つだけ)

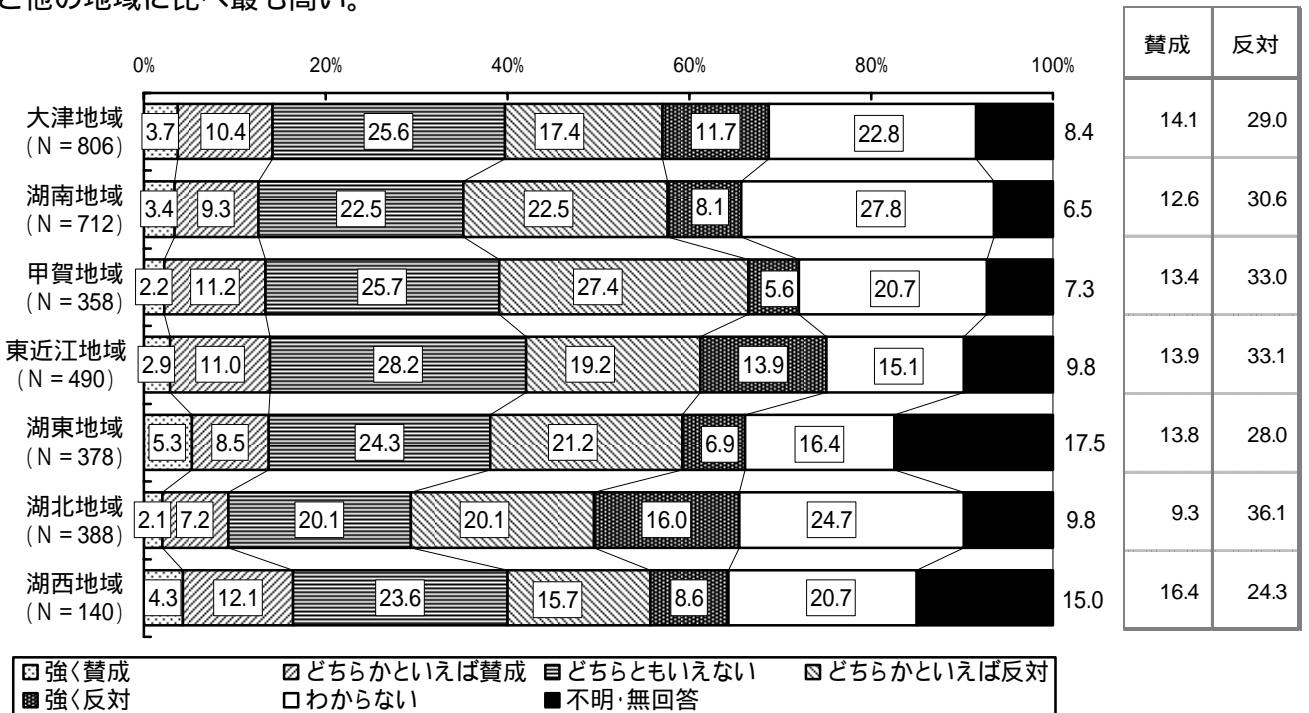
道州制導入に対する『賛成』は13.2%

道州制導入についての賛否については、「どちらともいえない」が24.5%と最も高く、次いで「わからない」が21.9%、「どちらかといえば反対」が20.5%となっている。『賛成』(「強く賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計)は13.2%、『反対』(「どちらかといえば反対」、「強く反対」)は30.9%となっている。



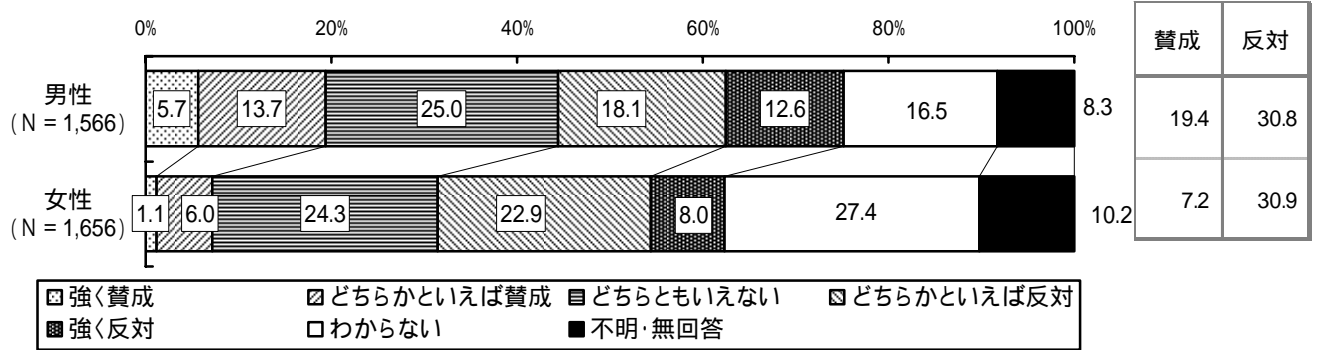
【地域別】

湖南・湖北地域では「わからない」、甲賀地域では「どちらかといえば反対」が、その他の地域では「どちらともいえない」が、それぞれ最も高くなっている。『賛成』は湖西地域で16.4%と他の地域に比べ最も高い。



【性別】

男性は「どちらともいえない」(25.0%)、女性は「わからない」(27.4%)がそれぞれ最も高くなっている。『賛成』は、男性(19.4%)に比べ女性(7.2%)の方が12.2ポイント低くなっている。



【性・年代別】

男性では、20歳代で「わからない」が、30・50・60歳代、70歳以上で「どちらともいえない」が、40歳代では「どちらかといえば賛成」がそれぞれ最も高い。女性では、20・50・60歳代では「わからない」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も高くなっている。『賛成』は、女性ではいずれの年代においても1割未満にとどまる一方、男性ではいずれも1割を超えており、40・60歳代では2割を超えている。

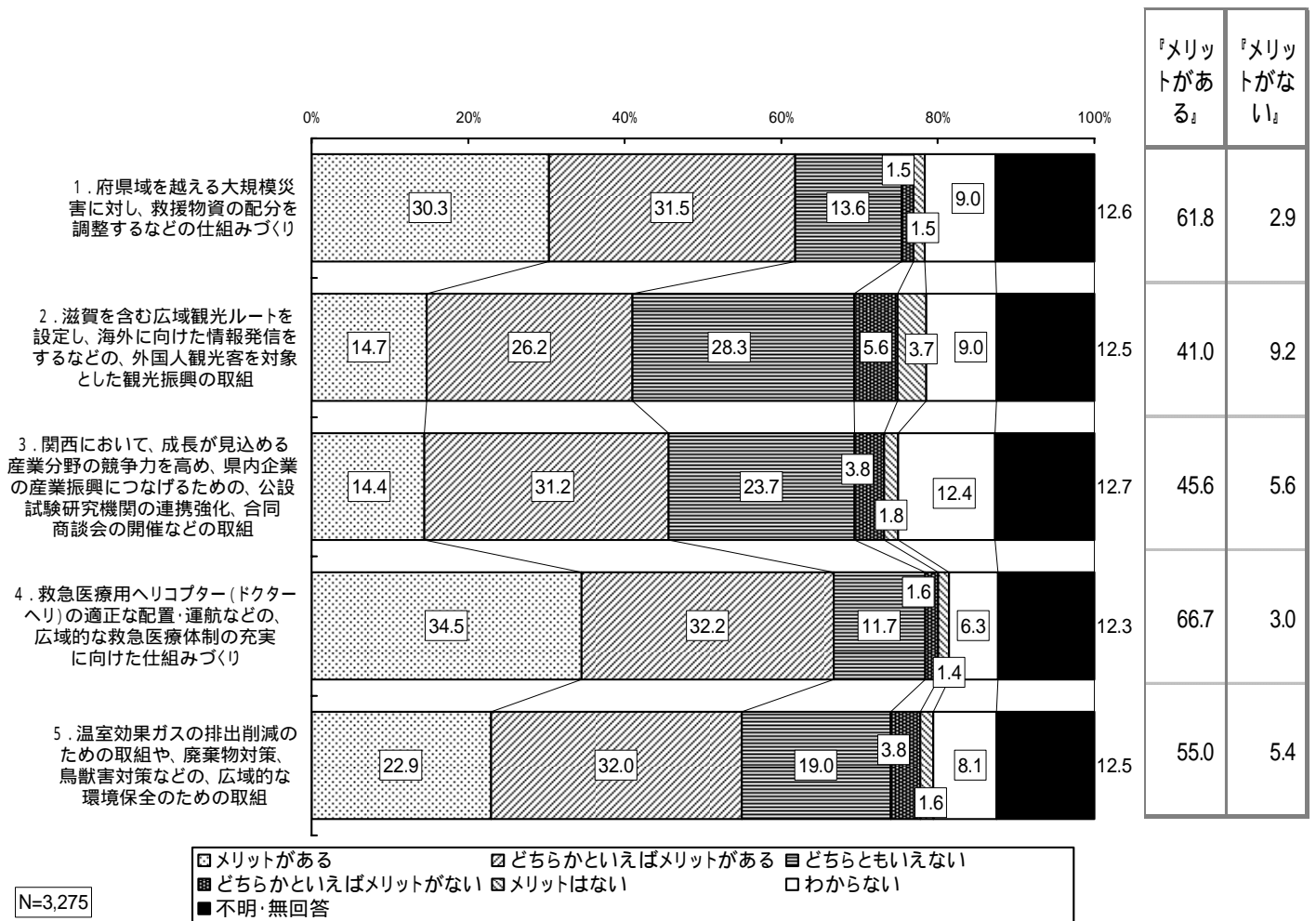
(2) 「関西広域連合(仮称)」について

「関西広域連合(仮称)」の取組についての考え

問 38 関西では、地域主権改革の実現、関西全体の広域行政を担う責任体制づくり、さらには国の地方機関の事務の受け皿づくりをねらいとして、「関西広域連合(仮称)」の設立を検討しています。あなたは、「関西広域連合(仮称)」で、次にあげる取組を行うことについてどう思われますか。1～5のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中から選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

『メリットがある』は救急医療体制の充実に向けた仕組みづくりで66.7%

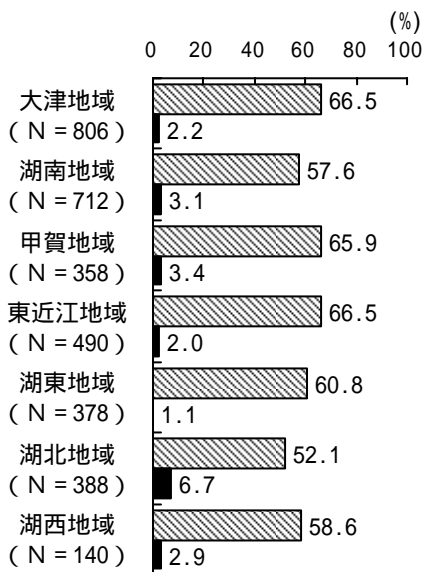
『メリットがある』(「メリットがある」と「どちらかといえばメリットがある」の合計)は「救急医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり」で66.7%と最も高く、次いで「府県域を越える大規模災害に対し、救援物資の配分を調整するなどの仕組みづくり」で61.8%となっている。



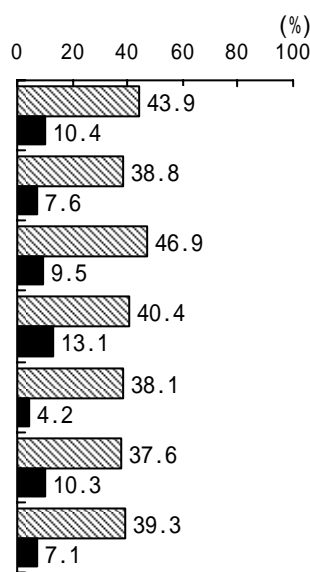
【地域別】

『メリットがない』は全体的に低く、「滋賀を含む広域観光ルートを設定し、海外に向けた情報発信をするなどの、外国人観光客を対象とした観光振興の取組」で大津・東近江・湖北地域で1割を越えている他は、いずれの項目においても1割未満となっている。一方、『メリットがある』は、いずれの地域においても「救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり」で最も高く、なかでも甲賀・東近江地域では7割を超え、他の地域に比べ高くなっている。

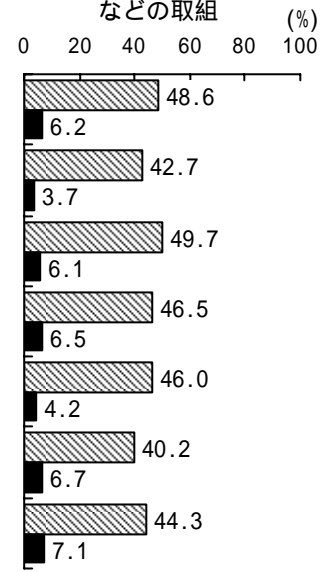
1. 府県域を越える大規模災害に対し、救援物資の配分を調整するなどの仕組みづくり



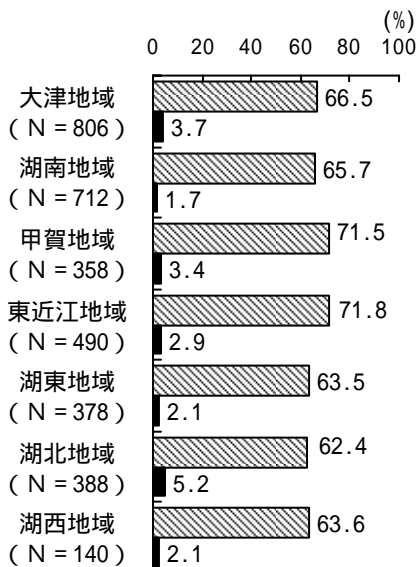
2. 滋賀を含む広域観光ルートを設定し、海外に向けた情報発信をするなどの、外国人観光客を対象とした観光振興の取組



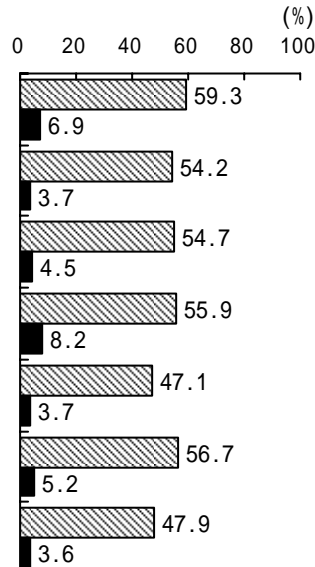
3. 関西において、成長が見込める産業分野の競争力を高め、県内企業の産業振興につなげるための、公設試験研究機関の連携強化、合同商談会の開催などの取組



4. 救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり



5. 温室効果ガスの排出削減のための取組や、廃棄物対策、鳥獣害対策などの、広域的な環境保全のための取組

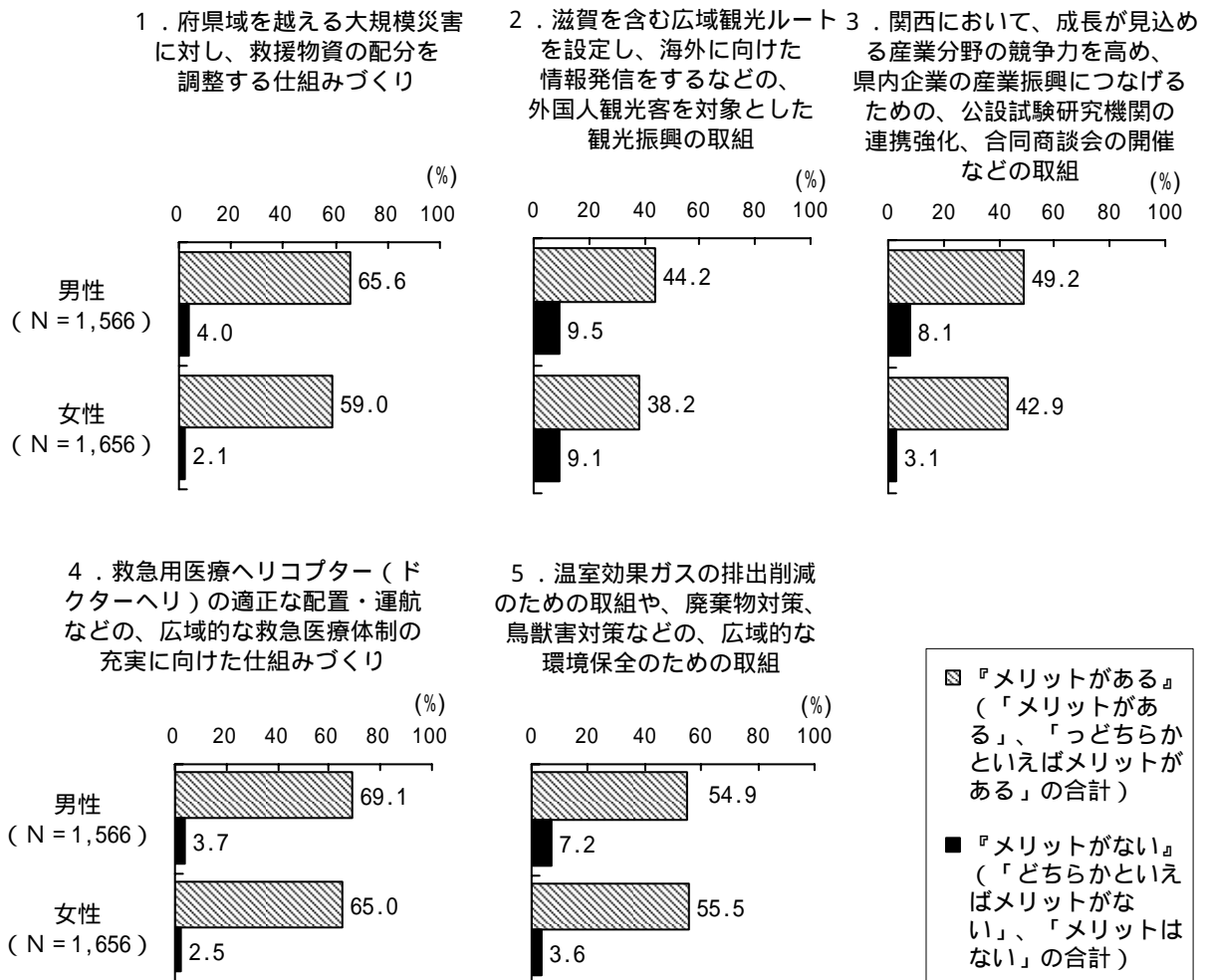


▨ 『メリットがある』
（「メリットがある」、「どちらかといえばメリットがある」の合計）

■ 『メリットがない』
（「どちらかといえばメリットがない」、「メリットはない」の合計）

【性別】

男女とも『メリットがある』は、「救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり」で最も高く、いずれも6割を超えている。



【性・年代別】

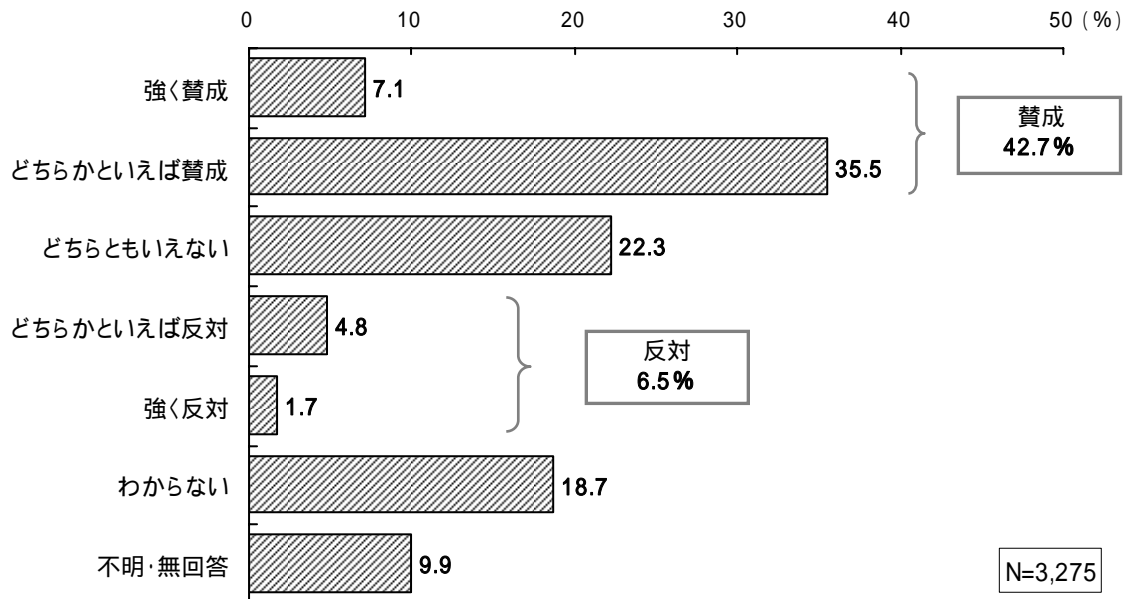
男性では、30・40歳代は「府県域を越える大規模災害に対し、救援物資の配分を調整するなどの仕組みづくり」が、50歳代以上は「救急用医療ヘリコプター（ドクターヘリ）の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり」がそれぞれ最も高く、20歳代は以上の2項目が同率で最も高くなっており、年代による傾向の差がみられる。女性では、20歳代は「府県域を越える大規模災害に対し、救援物資の配分を調整するなどの仕組みづくり」が、その他の年代ではいずれも「救急用医療ヘリコプター（ドクターヘリ）の適正な配置・運航などの、広域的な救急医療体制の充実に向けた仕組みづくり」がそれぞれ最も高くなっている。

「関西広域連合（仮称）」加入についての賛否

問 39 あなたは、滋賀県が「関西広域連合（仮称）」に加入することについてどう思われますか。（ は1つだけ）

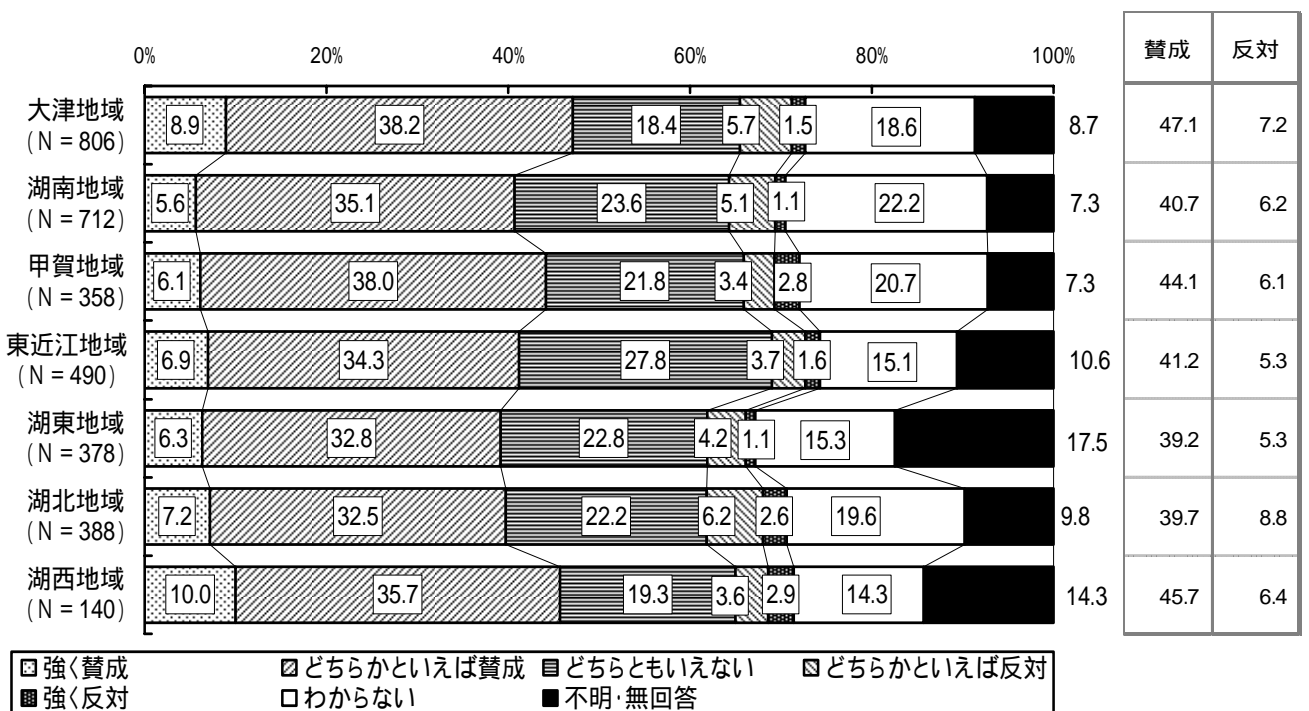
「関西広域連合（仮称）」加入に42.7%が『賛成』

「関西広域連合（仮称）」加入についての賛否については、「どちらかといえば賛成」が35.5%と最も高く、「強く賛成」（7.1%）と合計すると『賛成』は42.7%となっている。一方、『反対』（「どちらかといえば反対」と「強く反対」の合計）は6.5%にとどまる。



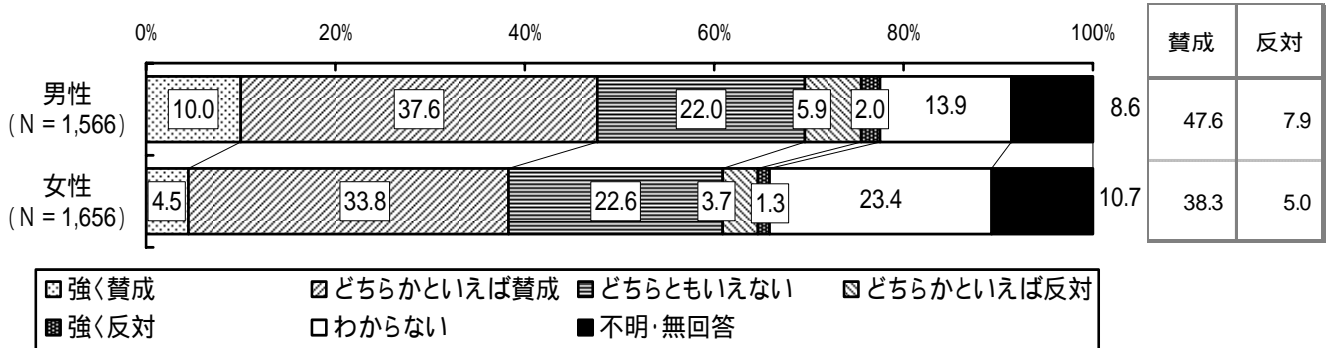
【地域別】

いずれの地域も「どちらかといえば賛成」が最も高く、『反対』はいずれも1割に満たない。『賛成』は、大津地域で47.1%と他の地域に比べ高くなっている。



【性別】

男女とも「どちらかという賛成」が最も高く、『賛成』では男性が 47.6%、女性が 38.3% となっており、男性に比べ女性の方が 9.3 ポイント低くなっている。



【性・年代別】

女性の 70 歳以上は「わからない」が最も高く、その他は男女ともいずれの年代においても「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。『賛成』は、男性では 50 歳代で 5 割を超え他の年代に比べ高い。また、女性では 20・30・50 歳代で 4 割以上となっている一方、最も低い 70 歳以上では 3 割弱となっている。